＜先週の説教から＞

『ルカ㊴―医者が必要なのは病気の人』

武田真治牧師

出エジプト記　24:9～11　ルカ福音書　5:27～32

イエス様のガリラヤ伝道の特徴の一つは、弟子たちを集められたことでした。ルカ福音書5章には、最初に漁師のペトロやヨハネやヤコブの召命が、そして今日の箇所でレビという人が召命を受けます。即ち「イエスは出て行って、レビという徴税人が収税所に座っているのを見て、『わたしに従いなさい』と言われた」のでした。

当時の「徴税人」とは、現代の税務署の役人とは異なります。その町や地域の統治者に願い出て、税金を徴収する権利をお金で買って人々から税金を取り立てる人たちでした。決められた税金をその統治者に支払えば、後の余ったお金は自分たちの懐に入れても構わないのでした。ですから人を見たら、走り寄って『税金を払え』と迫るのが彼らの姿でした。故に人々からは嫌われ、避けられていたのです。ここで、レビさんはただ「座っていた」とあります。そこに彼の空しい思いが表れているとも採れるのです。それを見抜かれたからこそ、イエス様は声を掛けられたのではないでしょうか？

この後、ファリサイ派や律法学者の人々から「なぜ、徴税人や罪人などと一緒に飲んだり食べたりするのか」と批判された言葉に対して、イエス様は「医者を必要とするのは、健康な人ではなく病人である。わたしが来たのは、正しい人を招くためではなく、罪人を招いて悔い改めさせるためである」と言われています。本当に“救い”を必要とする人にこそ、自分が遣わされて来たのだと。だからこそ、そのような人たちにイエス様は『わたしに従いなさい』と声を掛けられたのでしょう。逆に言えば、健康な人（＝医者が必要ないと思っている人）には、声を掛けられないということでもあります。ここでも、近くにいたファリサイ派や律法学者の人々には声を掛けられなかったと考えられます。故に、このイエス様の言葉は反面、厳しい言葉でもあると言い得るのでは？

このレビさんは、この後「自分の家でイエスのために盛大な宴会を催した。そこには徴税人やほかの人々が大勢いて、一緒に席に着いていた」のでした。これは一見、お祝いの会にように見えますが（勿論、その意味も込めていたのでしょうが）、この宴会は「イエスのために」催されたものであり、それは単にイエス様に御礼のごちそうを差し上げたというだけでなく、むしろイエス様が為しておられた“伝道”のために「宴会を催した」のです。それは、自分の仕事の仲間や友人にイエス様を紹介したい、出会わせたいという思いだったのではないでしょうか。自分がイエス様と出会うことによって、新しい生き方を始めることができた、その喜びを親しい人たちにも味わってほしいと願っているのでしょう。

この姿こそ、イエス様に出会い、生き方を変えた“悔い改めた人”の姿そのものではないでしょうか。ここには、キリストに癒され、救われた人の“喜び”が溢れています！

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

【今週の集会】

＊聖書研究・祈祷会　Ⅰ．3月19日（水）20：00
　　Ⅱ．3月20日（木）休　会
聖書研究：　ローマの信徒への手紙
祈祷主題：　埼玉地区総会を覚えて
担当者：　（水）相浦　　（木）
祈りに覚える人：　曽我さん　　高橋さん
＊ひつじ雲の会　　3月18日（火）10：30～

【教勢報告】

主日礼拝　　男18　女45　計63
祈祷会　Ⅰ.男3　女2　計5　Ⅱ.男1　女9　計10
日曜学校　　幼稚科6　小中科6　計12

＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊＊

【次週礼拝】　3月　２３日（日）

聖　書：エレミヤ書　４８：９～１３
　　ルカによる福音書　５：３３～３９
説　教：「ルカ㊶―引き戻す力に抗して！」
　　武田 真治 牧師
讃美歌：３０８(1)、３２、３００、４４４、４６３、
　　２７(1)

【次週当番表】

司式:齋藤長老　奏楽:須田　礼拝:金刺長老
献金：池田　上松　受付：金刺 坂田
会堂準備：大野　勝村　黒澤　鶴
　　西尾
看板：中村　　週報：飯島　　お花：飯島

【次週集会予定】

礼拝前：・聖書輪読会　・求道者会
礼拝後：・お茶の会　・牧師と語る会
　　・牧会/伝道/礼拝/社会/教育 各委員会
　　・臨時長老会　・関東改長協役員会16：00～

６６－１１

週　報

2024年度　教会標語

「主につながり、その枝としてひろげて」

２０２５年　　３月　１６日

日本キリスト教団　**上尾合同教会**

牧　師　　武田　真治

〒362-0041　上尾市富士見２－３－33
TEL＆FAX　048－771－6549
http://www.ageo-church.org/